

## 2013年11月3日 主日礼拝 (洗礼式・誕生祝福式)

プレイズ  
奏 楽  
3つの愛  
賛 美 新聖歌20番「主の真実は奇しきかな」  
(Never worry Never hurry) (栄光の雲が)

ヤベツの祈り

聖 書 詩篇 30篇1～12(p.771)  
音 楽 亀渕友香 & VOJA (V)

メッセージ「夜明けを迎え、嘆きが踊りに」 榊原寛先生

賛 美 聖歌229番(アメージンググレイス)(献金)  
頌 栄 「それ神は」(700番)・アーメン  
祝 禱

### 【町田ニュース】

- 先週の「秋の鍋パーティー」が祝福されました(大人16人、子ども10人)
- 先月の国際飢餓対策への募金は7,135円でした。感謝します。
- 月～火曜日、「グローバル・リーダーシップ・サミット」(Y)。
- 祈禱会は水曜7時半、信徒のための大聖会です。アメリカよりいやしの器、**チェ・アン**氏が来られます。メチャすごい大会になります。
- 木曜日10時～「ほっとママの会」。田口美穂先生がご奉仕。お祈り下さい
- 木曜祈禱会は、火曜日朝10時に合流(Y)。GLS・ゲリー師の説教。
- 金曜日、準備祈禱会は夜9時(Y)。説教は大野メディア主事。
- 土曜午後4～6時は**リバイバル祈禱会**。主の隣在溢れる祈り会です。
- 今年も「**クリスマス・プレゼント作戦**」、子どもへのプレゼントや募金を来週まで募集します。ぜひご協力ください。
- 来週の午後礼拝はお休み(午前礼拝はあり)。14時～大和カルバリーチャペルでなされる「**亀渕友香 & VOJAゴスペルコンサート**」に参加します。
- 今年も通読を目指して、貪るように聖書をよみましょう。読書の秋！

「夜はよもすがら泣き悲しんでも、朝と主に喜びが来る。」  
(詩篇三十の五)



## 畑の中の宝物

いよいよ秋も深まり紅葉が始まりました。最近秋も短くなったといいますが、読書の秋です。聖書や良書をじっくり読みたいですね。

山浦玄嗣先生が『「なぜ」と問わない』という本を書かれました。著者の山浦先生は岩手県大船渡市在住の医師であり、聖書の四福音書を気仙地方の方言(ケセン語)に翻訳された先生として有名なお方です。

東日本大震災では自ら被災し、不十分な医療環境の中で、医師として何千人もの患者さんを見守り、その話に耳を傾け、一緒に泣いてくれました。

震災後、間もなくして、たくさんのメディア記者が先生を取材に来られました。その時、最も多かった質問が、「東北の人たちのように実直で勤勉で立派な人々が、なぜこんな目に遭わなければならないのか。神さまはこういう人たちを、なぜこんなむごい目に遭わせるのか。あなたは信仰者としてどう思いますか？」ということでした。先生はその質問に驚き、怒りが込み上げてきたそうです。

驚きました。そんなことは夢にも考えたこともなかったからです。考えたこともないことに返事をしろなんて、全く途方にくれてしまいました。ところがどういうわけか、来る人来る人みんな同じことを尋ねるのです。そのしつこさに、だんだん腹が立ってきました。…(中略)…それで、同級生仲間と何人かで集まったときにその話をしてみました。「いや、こういうわけだな、おれ、困ってんだとも、お前だちアそなたなごどオ考えつか？」聞かれたその友だちも怒りだして言うんです。「気仙衆アネズミだつてそなたなごどオ考えねア」それでみんなで考えました。「とにかく東京がら来る人だちア判で押したように同じことオ語る。なしてだべな？」そして出た結論は、「暇だからでねアが？」でした。

われわれは忙しくてそんなことを考えている暇はない。今は生きることで大変なのです。

「なぜ」「なんのために」そのように問うことよりも、私たちがその状況下で神様の御心を行っていく…その中からそのことの意義が知らされていくのでしょうか。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ピレモン～ヘブル6章 Bコース:エレミヤ36章～52章